

# 大分県自転車活用推進計画フォローアップ調書

|     |                        |                 |
|-----|------------------------|-----------------|
| 目標1 | 自転車利用の促進等による健康寿命日本一の実現 | (総括部署)<br>福祉保健部 |
|-----|------------------------|-----------------|

## ◆概要

県民の生活習慣病予防や心身のリフレッシュなどに自転車利用が効果的であることから、自転車競技や、日常生活における自転車利用も含めた生涯スポーツの普及奨励により、心身の健全な発達や、生きがいのある豊かな生活の実現、県民の健康寿命の延伸等を目指す。

このため、生活習慣病を予防し、あるいは寝たきりにならずに人生を健康に過ごし、QOL\*1の向上に資するよう、県民のヘルスリテラシー\*2の向上を図るとともに、自転車の利用促進につながるまちづくりと連携し、日常の身体活動量の増加・底上げを図る。

また、県民の余暇の充実に資するよう、サイクルスポーツの裾野を広げ、できるだけ多くの人がサイクルスポーツを楽しめる機会の創出を図る。

## ◆令和元年(2019年)度の取組

- 健康アプリ「おおいた歩得」でのポイント付与する自転車イベントの登録【施策①】
- 「健康経営サポートニュース\*3」を通じた自転車通勤の普及奨励【施策①】 など

## ◆フォローアップ指標

| 指標名                              | 2018年度 | 2019年度 | 2021年度 |
|----------------------------------|--------|--------|--------|
|                                  | 基準値    | 実績値    | 目標値    |
| 健康アプリ「おおいた歩得」登録自転車イベントでのポイント付与者数 | 410人   | 751人   | 1,500人 |

## 〈解説〉

### \*1 「QOL」

クオリティ・オブ・ライフ (quality of life) の略。快適な生活の必要条件であり、人間が日常生活を営む上で必要とされる満足感、幸福感、安定感を規定している様々な要因の質。

### \*2 「ヘルスリテラシー」

健康課題に対して適切に判断するために必要な情報等を理解し、活用する能力。

### \*3 「健康経営サポートニュース」

事業所における「従業員向け健康情報の提供」のため、大分県が「健康経営事業所」に登録されている事業所に向けて発行するもの。

# 大分県自転車活用推進計画フォローアップ調書

|     |                              |                   |
|-----|------------------------------|-------------------|
| 目標2 | サイクリスト・フレンドリーな「おんせん県おおいた」の実現 | (総括部署)<br>商工観光労働部 |
|-----|------------------------------|-------------------|

## ◆概要

「日本一のおんせん県」が誇る豊富な観光資源と多くのサイクリングルートをもつ大分県の特長を活かし、サイクルツーリズムの推進等、自転車を活用した地域の活性化を図り、サイクリスト・フレンドリーな大分県を実現する。

このため、県内の様々な関係者と連携して、サイクリストの受入環境、サイクリングルート沿線の魅力づくり等に取り組む。

さらに、地域を巡りながら沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行の目的地となり得るサイクリングルートとしてブランド化を図り、Webサイト等を活用したプロモーションを展開し、県内を周遊滞在するサイクリストを国内外から誘客する。

また、乗ることそのものを楽しむサイクリング、市民参加型のサイクリングイベント及び自転車競技等、幅広い年齢層が自転車に親しめる多様な機会を得られるよう、広報普及活動等を通じてサイクルスポーツを振興します。加えて、自転車に関する国際会議や国際大会等の誘致を推進し、自転車を通じた地域の活性化を図る。

## ◆令和元年(2019年)度の取組

- インバウンド向け招請調査事業の実施(滞在コンテンツ造成にあたっての検討会の開催、海外メディアの招請等) 【施策③】
- サイクルシンポジウム「西瀬戸海道・5つの星の可能性を探る!」の開催支援 【施策③】  
日 時: 令和元年11月29日(金)～30日(土)  
主 催: 日本風景海道 別府湾岸・国東半島海への道推進協議会
- 国際自転車競技連合(UCI)公認の国際自転車ロードレースである「OITAサイクルフェス!!!2019」の開催支援 【施策④】 など

## ◆フォローアップ指標

| 指 標 名                           | 2018年度 | 2019年度 | 2021年度 |
|---------------------------------|--------|--------|--------|
|                                 | 基準値    | 実績値    | 目標値    |
| 県域をまたぐ <u>広域サイクリングルート</u> *4 の数 | 2ルート   | 2ルート   | 4ルート以上 |

### 〈解 説〉

\*4 「広域サイクリングルート」

大分県には、自転車活用推進計画に示した主要なサイクリングコースが12ルートあり、そのうち2つのルートが国の自転車活用推進計画上のモデルルートとして指定されている。

# 大分県自転車活用推進計画フォローアップ調書

|     |                         |                 |
|-----|-------------------------|-----------------|
| 目標3 | 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成 | (総括部署)<br>土木建築部 |
|-----|-------------------------|-----------------|

## ◆概要

県民の健康増進やサイクルツーリズム推進等のほか、交通分野の低炭素化、都市部を中心とした道路交通の円滑化、交通手段の多様化による周遊性の向上等、自転車交通の役割拡大が期待されている。

このため、自転車は公共交通とともに公共性を有するモビリティであることを踏まえ、それにふさわしい安全で快適な自転車利用環境を計画的かつ継続的に創出するとともに、公共交通との連携を強化し、良好な都市環境の形成を図る。

## ◆令和元年(2019年)度の取組

- ・ 自転車歩行者道整備を行う国道197号昭和通り工区の一部区間の供用化【施策⑤】  
※デザイン性が評価され「GOOD DESIGN AWARD※5 2019」を受賞
- ・ 自転車道整備を行う国道442号宗方拡幅における一部買収完了区間の工事着手【施策⑤】
- ・ 別府市南立石と佐伯市新女島区の2カ所において、「ゾーン30※6」規制の設置【施策⑥】
- ・ 国道500号や国道442号等の6箇所において無電柱化を推進(整備中)【施策⑥】
- ・ 都市再生整備計画事業により、祝祭の広場(大分市)に駐輪場を整備【施策⑦】 など

## ◆フォローアップ指標

| 指標名                                    | 2018年度 | 2019年度 | 2021年度 |
|--|--------|--------|--------|
|  | 基準値    | 実績値    | 目標値    |
| 新たな自転車通行空間の整備延長距離                      | -      | 1km    | 6km    |
| 市町村自転車活用推進計画に位置づけられた自転車ネットワーク計画の策定市町村数 | -      | 0市町村   | 1市町村   |
| まちなかや駅前の駐輪台数※7                         | -      | 50台    | 400台   |

### 〈解説〉

#### \*5 「GOOD DESIGN AWARD」

グッドデザイン賞: デザインによって暮らしや社会をよりよくしていくため、1957年に開始。シンボルマークの「Gマーク」とともに広く親しまれている。

#### \*6 「ゾーン30」

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて時速30キロの速度規制等により、ゾーン内における速度抑制やゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図るもの。

#### \*7 「まちなかや駅前の駐輪台数」

都市再生整備計画事業により整備する駐輪場台数で、祝祭の広場(大分市)、大手前まちづくり交流館(佐伯市)、JR日田駅前広場(日田市)、JR柳ヶ浦駅前広場(宇佐市)を整備する計画。

# 大分県自転車活用推進計画フォローアップ調書

|     |                     |                 |
|-----|---------------------|-----------------|
| 目標4 | 自転車事故のない安全で安心な社会の実現 | (総括部署)<br>生活環境部 |
|-----|---------------------|-----------------|

## ◆概要

自転車事故は、自転車利用者が被害者にも加害者にもなる可能性があるため、交通ルールを遵守し、自分の安全を確保しながら、歩行者へ思いやりをもって運転することが求められている。このため、自転車交通事故ゼロの社会を目指し、歩行者、自転車、自動車が互いの特性や交通ルールについて理解が一層深められるよう普及啓発に取り組むとともに、互いに尊重しあう安全で安心な交通環境の創出を図る。

## ◆令和元年(2019年)度の取組

- ・ 学校等において自転車シュミレータ等による交通安全教室(11,058人)の実施【施策⑩】
- ・ 交通安全教育講師派遣事業における自転車の安全利用を呼びかける教育(104回、7,218人の参加)の実施【施策⑩】
- ・ 県内全ての小・中・高等学校の新入生や、交通関係団体に自転車の安全利用を呼びかけるチラシ(54,500枚)の配布【施策⑪】
- ・ 県立高校自転車通学生ヘルメット着用推進事業におけるモニター(586名)の募集【施策⑪】  
※ヘルメットの購入者には、5,000円を上限に補助
- ・ 第52回交通安全子供自転車大分県大会(県内の小学校5校7チームが出場)の開催【施策⑪】  
など

## ◆フォローアップ指標

| 指 標 名                                 | 2018年度 | 2019年度 | 2021年度     |
|---------------------------------------|--------|--------|------------|
|                                       | 基準値    | 実績値    | 目標値        |
| 自転車事故死亡者数                             | 1人     | 3人     | 0人         |
| 自転車事故数<br>※自転車関係交通事故(人の死亡又は負傷を伴う事故)件数 | 395件   | 379件   | 300件<br>以下 |

# 大分県自転車活用推進計画フォローアップ調書

| 総合的かつ計画的に推進するための方策  | 共通 |
|---|----|
| <p data-bbox="159 392 730 436"><b>1 関係者の連携・協力及び人材育成</b></p> <p data-bbox="215 465 769 504"><b>大分県自転車活用推進セミナーの開催</b></p> <p data-bbox="244 533 1177 862">日 時：令和2年1月29日(水) 10:00～12:00<br/>場 所：県庁舎本館2階正庁ホール<br/>参加者：県（自転車施策担当者）、国（大分・佐伯河川国道事務所）、市町村（自転車活用推進部署、観光部署、道路担当部署等）、自転車活用推進有識者会議委員、モデルルート協議会ほか<br/>内 容：①大分県自転車活用推進計画の概要<br/>②健康アプリ「おおいた歩得」の紹介<br/>③自転車通行空間の整備<br/>④ミニ交通安全教室～自転車安全利用五則<br/>⑤県内のサイクルツーリズムの取組～事例発表</p> <p data-bbox="159 981 419 1025"><b>2 広報活動等</b></p> <p data-bbox="215 1055 689 1093"><b>県庁ホームページ内での情報発信</b></p> <p data-bbox="236 1122 1316 1189">自転車活用推進計画に関する取組について情報発信するため「Cycling OITA」を開設。計画内の各分野ごとの施策が閲覧できる構成としている。</p> <p data-bbox="236 1227 901 1256">HPアドレス <a href="http://www.pref.oita.jp/site/cyclingoita/">http://www.pref.oita.jp/site/cyclingoita/</a></p>  <p data-bbox="159 1368 419 1413"><b>3 IoT等の活用</b></p> <p data-bbox="215 1442 663 1480"><b>シェアサイクル県庁ポートの設置</b></p> <p data-bbox="215 1509 1362 1576">自転車の活用推進を図るため、シェアサイクルの実証事業を行う大分市との施策連携により、県庁舎にポート(駐輪場)を設置。</p> <p data-bbox="215 1606 1374 1711">※大分市が行うシェアサイクル事業は、「ドコモバイクシェア」のシステムを使って運用。<br/>ドコモバイクシェアは、GPSで位置情報をリアルタイムで管理することにより、スマートフォンでポートにある自転車台数の確認、予約ができ、また料金決済も可能となっている。</p>  |    |